



令和5年12月 市議会定例会

令和4年度の決算を認定

平塚市議会は、令和5年11月29日から12月22日まで、24日間の会期で12月定例会を開催しました。今定例会では、市長提出議案として、条例の改正や令和5年度補正予算、人事案件など28案件が提出されました。審議の結果、全ての議案を原案どおり可決、同意しました。

なお、9月定例会で提出され継続審査となっていた、令和4年度決算の認定などに関する議案は、決算特別委員会での審査結果を受け、認定、可決しました。
※議案と審議の結果は8面に掲載しています。

上…姉妹都市提携の調印式が行われたリトアニア共和国のカウナス城



左…カウナス市旧市街



今定例会では、子育て施策を中心とした市民サービス・利便性の向上を図るための事業経費が計上されたほか、脱炭素社会の実現に向けた経費や不足が見込まれる経費などの一般会計補正予算が提案されました。

主なものとして、マイナンバーカードを活用した「書かない窓口」を推進するノーマライズシステムの導入経費320万円や障がい児通所サービスの利用件数の増加及び支給基準の拡充を図るための経費として1億8965万4千円が計上されたほか、保護者の負担軽減などを目的とした保育所などにおける「手ぶら保育」の促進に向けて主食の提供を開始するための準備経費として408万8千円などが計上されました。

常任委員会では、中小企業に向けた金融支援の状況や、新たに購入する美術品の集客の効果、びわく少年の家で剪定や伐採を予定している危険樹木の本数などが問われたほか、平塚市リ

採決の結果、全員異議なく可決しました。

◆平塚市みどり基金条例の一部を改正

平塚市みどり基金の設置目的に脱炭素社会の実現に向けた取り組みの推進を加えることに伴い、規定を整備するほか、所要の改正を行うための条例が提案されました。

質疑では、条例改正を行うことのメリットや趣旨、脱炭素に向けた本市の取り組み内容などが問われました。採決の結果、全員異議なく可決しました。

◆指定管理者の指定

指定管理者の指定に関する6議案について、採決の結果、全員異議なく可決しました。

令和6年4月1日から、勤労会館は2年間、土屋霊園、市営住宅及び共同施設などの施設は5年間、指定管理者が管理・運営を行います。

◆人事案件に同意

任期満了を迎える教育委員会委員の任命と、人権擁護委員の推薦に関する議案が提出され、全員異議なく同意しました。

○増井峰夫氏(大神二丁目)

○教育委員会委員

○人権擁護委員

○葺島 友子氏(袖ヶ浜)

○朝倉 隆氏(花水台)

○府川 文子氏(南原二丁目)

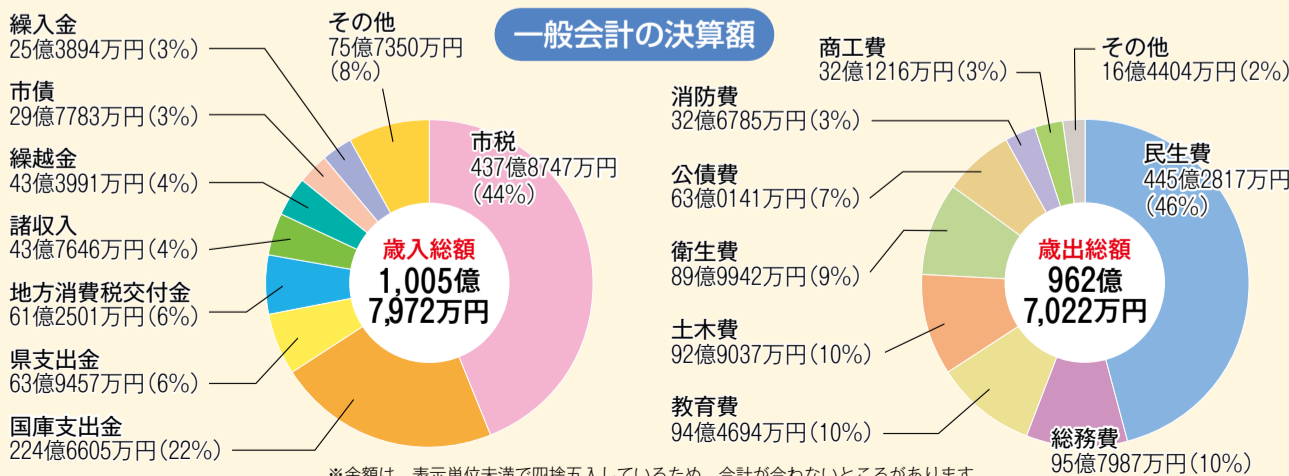
主な内容

総括質問	2~7面
清風クラブ	2・3
野崎審也 数田俊樹 片倉章博	
しらすぎ・無所属クラブ	4
白井照人 渡部 亮 江口友子	
公明ひらつか	5
上野仁志 岡崎通子 五十嵐豊	
湘南フォーラム	6
小泉春雄 出村 光 久保田聡	
日本共産党平塚市議会議員団	7
高山和義	
無所属	7
佐藤由美子	
常任委員会の審査概要	7面
審議の結果	8面

令和4年度 決算を認定

《決算特別委員会の質疑内容は3面に掲載》

9月定例会に提出された令和4年度の決算の認定に関する議案について、付託された決算特別委員会の審査結果を受け、12月定例会初日に各会計決算とも認定しました。



総括質問

本市議会では議案への質疑と、市政などを問う一般質問を合わせて行い、それを「総括質問」としています。今定例会では、14人の議員が総括質問を行いました。質問者の文責により質問と答弁の要旨を紹介します。

★詳しい質問内容は、会議録をご覧ください。

清風クラブ



異次元の少子化対策
夢や希望のある未来に向けて
野崎 審也 議員

低所得世帯への経済対策

問 低所得世帯支援事業の内容を伺う。

健康・こども部長 対象は住民税均等割非課税世帯などを予定している。支給対象は令和5年12月1日に本市に住民登録を有している者である。夏に3万円の給付を受給した世帯は手続き不要のプッシュ型で行う。

問 夏の給付では、約3千人が受給できていない。今回は7万円と高額であり、一人でも多くの低所得世帯が受給できる方法を検討できないか伺う。

福祉部長 広報ひらつかでの周知や公民館などへの申請書の配架、勸奨はがきの送付回数を増やすほか、ボランティアによる声掛けなどを考えている。

(仮称)次期平塚市総合計画(1次素案)

問 これからのまちの姿や

方向性を伺う。

市長 現在策定中の(仮称)次期平塚市総合計画(1次素案)では、自治基本条例に定める「市民が幸せに暮らすまち」を指す。計画の推進にあたっては、本市の魅力を発信するシティプロモーションを積極的に展開することなどをまちづくりの基本姿勢とする。同時に、バックキャストイング思考により、未来志向の政策を展開し、持続可能な行政運営を進める。

問 まちづくりには複雑、複合化された課題が多くある。市長自ら先頭に立ち企業セールのすることをまちが変わると思うが、市長の意気込みを伺う。

市長 就任早々からまちの魅力を進めるために先頭に立ち、市内の各企業を廻ってきており、今後も続けていきたいと考えている。

少子化への対応と結婚支援

問 本市は8年連続人口の

社会増が続いているが、今年はいかがか。

市長 平成27年から8年連続で社会増となっている。令和5年10月までの時点で、昨年より多い2339人の社会増となっており、さらなる少子化対策に取り組んでいく。

問 婚姻数は22年前と比べて897組と半減し、出生数も減少している。結婚支援に対する考えを伺う。

市長 国の少子化社会対策白書によると、独身でいる最も多い理由は、適当な相手に巡り合わないことである。最近では、企業も婚活支援をしているとの報道もあるため、行政としても結婚支援の在り方を判断する必要がある。検討している。

問 七夕まつり実行委員会のイベント部会で婚活支援ができないか伺う。

産業振興部長 実行委員会の中でアイデアを出してもいい、議論してもらえればと考える。

魅力あるまちづくり

問 龍城ヶ丘の海岸整備の進捗状況を伺う。

都市整備部長 令和5年2

月に県警との交通協議を、11月には県との海岸占用協議が終了した。現在、行政手続きや詳細設計を進めている。

問 対話は賛成・反対を自由に発言ができる場とすべきと思うが見解を伺う。

都市整備部長 さまざまな立場の人が自由に発言できるように、現在自治会長と開催方法を協議している。

市長は以前から着工前

には住民に説明するとして

いるが、いかがか。

市長 県との海岸占用協議も終わったので、市民への説明の機会を設けていきたいと思っている。

問 本事業に対する市長の思いを伺う。

市長 高齢者や子ども、障がい者など誰もが海の魅力を享受し、他市からの利用も見込める海辺の総合公園の実現に向け進めていく。



子ども達の未来のために

数田 俊樹 議員

通学路の安心安全

問 通学路上のブロック塀の確認を強化するべきだと考えるが見解を伺う。

まちづくり政策部長 現在把握している危険箇所は104件ある。こちらは、所有者への戸別訪問やポスティングなどを行い、更なる改修に向けて依頼をしている。新たな危険箇所については、地域の情報提供などを基に、担当課で現地確認をしながら、改善に向けて進めていきたい。

街路樹をより適正に管理するために

問 樹木医による街路樹の

沿道清掃などの課題もあることを考えると、方針を立てて、街路樹の管理計画をしっかり策定していく必要があると考えるが、見解を伺う。

土木部長 樹木の成長は路線や時期によって変わるため、現段階では具体的な計画は難しいと考えているが、指針の策定に向けて検討していきたい。

ドローンを活用した地域防災力向上へ

問 防災力向上のため、ドローンを所有、または国家資格保有者がいる法人と防災協定を締結するべきだと考えるが見解を伺う。

副市長 災害発生時には操縦士を派遣してもらい、情報収集や支援物資を輸送してもらうことなどが期待される。また、平時には、ドローン操縦の国家資格など、法改正に関する情報提供や本市の運用に対する支援をしてもらうことなどが考えられるため、協定締結は、令和5年度内に進めていく。

問 国は、山間地などの無人地帯でのドローン利用の規制緩和案を示し、さらにスピード感をもって活用を進めていくとの見解を示している。本市でも、人口密集地帯ではない地域で積極的に実証実験を行うべきと考えるが見解を伺う。

副市長 大規模災害の際に人口密集地帯ではない地域に立ち入れなくなった場合などを想定し、ドローンを活用した訓練を行っている。

1面掲載写真を募集しています

市内に在住又は在勤・在学の方を対象に、市内を撮影した四季折々の風景など、平塚市の魅力あふれる写真を募集しています。

今回は、第232号(令和6年5月3日発行)に掲載する写真を募集します。

詳しい応募方法などは、市議会ホームページをご覧ください。お問い合わせは、議会局まで

お問い合わせください。(議会局 ☎21-8791)



声や点字の議会だより

目の不自由な方に市議会の活動をお伝えするため、議会だよりの内容を朗読した「声の議会だより」を発行しています。また、点字版

も発行しています。

ご希望の方は議会局までご連絡ください。



問い合わせ
議会局 ☎21-8791

デジタル教育の推進

問 令和5年度に、金目中学校が文部科学省の生成AIパイロット校の内定校に指定された。期待される効果と、モデル校としての期待を伺う。

学校教育部長 金目中学校の具体的な取り組みは、教育活動での活用として、国語科では、生徒が発表スライドを作成する際に、新しいアイデアの創出に生成AIを活用している。音楽では、生徒が作詞をし、生成

AIが作曲して曲を作り上げていくようなことを取り組んでいる。本市での生成AIのモデル校設置については、現段階では新たな計画はないが、生成AIを学校に、より効果的に取り組むために、モデル校を設置した方が効果的ではないかと判断した場合には、しっかりと検討していきたいと考えている。

このほかの質問

自転車用ヘルメットの着用 旧相模小学校の活用 平塚市文化芸術ホールの管理運営

【中心市街地将来構想】



『夢ある未来』平塚を創る

片倉 章博 議員

問 本市の令和5年の転入状況を伺う。

答 5年1月からは、昨年よりも多い2339人の社会増である。人口が増加した地区は、黒部丘、宮の前、錦町、宮松町、龍城ヶ丘である。

問 中心街への店舗誘導策などの検討状況を伺う。

答 共同化した建物への更新を進めるため、駅周辺に求められるオープンスペースなどの機能誘導に繋がる施設建築物や敷地などの整備費への補助、テナント誘致に対する補助などの支援並びに建築物に係る規制を見直す必要があるかについて、関係課と検討を進めている。

問 再開発の設定地域を伺う。

答 再開発の設定地域を伺う。

問 再開発の設定地域を伺う。

問 民間が行う再開発と、行政が行う再開発があるが、法定再開発とはどのような取り組みか伺う。

答 法定再開発とは、都市再開発法に定める市街地再開発を指し、土地の高度利用や都市機能の更新を図ることを目的に、区域の面積が5千平方メートル以上の大規模再開発を実施する場合、国から多くの支援メニューがあるものである。

問 新潟県長岡市や青森県八戸市などは、中心街に行政と一体となった拠点がある。本市もこのような拠点をアクションプランの中で検討しているのか伺う。

答 詳細は決まっていないが、アクションプランに取り込むことも考えている。

問 インセンティブについて伺う。

答 現在庁内で検討を進めており、できたところから示させてもらいたい。

議会図書室のご案内

議会には、議員の調査研究のため、図書室の設置が法律により義務付けられています。

本市議会では、開かれた議会とするため、平塚市庁舎本館8階の議場前の開放したスペースに議会図書室を設け、市民・議会・行政が共同で利用できる環境をつくりました。



問 市長が望む中心街を伺う。

答 住居だけでなく、商業や産業がベースとなるよう努力していきたい。

平塚市環境基本計画 ニュートラル

問 環境みどり基金の使途を伺う。

答 環境みどり基金は市民や事業者に対する脱炭素化の支援や、本市が導入する設備のための財源として活用するものである。

地域商店街の今後

問 市内のスーパーや福祉部などが連携を取り、課題となっている高齢者の買い物先を紹介することはできるのか伺う。

答 産業振興部長 移動販売車を所有しているスーパーがあり、市内全域をエリアとし、地域から要請があれば定期的に外向く店もあるため、そういった情報を福祉部と共有しながら、適切な買い物環境を整えていきたい。

平塚市まちづくり条例の見直し

問 ごみ集積所の設置に関する運用基準の見直しを伺う。

答 環境部長 ごみの排出量の減少や戸別収集などもあり、今年度中の見直しを考えている。

学校・家庭・地域とPTAの役割

問 PTAフェスタや地域行事の考え方を伺う。

答 学校教育部長 平塚市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則において「校長は、学校の施設又は設備を社会教育その他公共のために利用させることができる」とされている。学校施設を地域行事で利用することも、学校運営協議会などの活用により、地域・PTAと学校が協議を重ねながら共通理解を図り、子ども達を含む地域にとって、よりよい在り方を指すことが重要だと考える。

清風クラブ 所属議員



坂間 正昭 議長



佐藤 貴子 議員



諸伏 清児 議員



須藤 量久 議員



黒部 栄三 議員

決算特別委員会の審査概要

9月定例会で継続審査となっていた、令和4年度決算の認定に関する議案について、9月26日から27日にかけて開催した決算特別委員会で審査し、付託した4案件は全て認定すべきもの、可決すべきものと決定しました。主な質疑を紹介します。

一般会計・特別会計決算

○総務費 シティプロモーション推進事業

問 JR品川駅などで行ってきたシティプロモーションの効果を伺う。

答 駅のデジタルサイネージや電車内の窓上広告でのPRを通して、本市の定住促進ウェブサイトへの誘導を行っており、ウェブサイトのクリック数が令和3年度は9万2千件だったのに対し、令和4年度は11万件を獲得している。人口の社会増減についても、本市はこの数年社会増となっており、効果があったと考えている。

○総務費 防犯設備整備事業

問 防犯街路灯の設置基準が、令和4年度に40メートル間隔から25メートル間隔に変更されたが、新基準での設置数を伺う。

答 57か所に設置した。

○民生費 生活困窮者自立支援事業

問 暮らしサポート相談窓口の相

談件数が令和3年度は9519件だったが、令和4年度は5297件と大幅に減少している。このことについて、どのような分析をしたのか伺う。

答 貸付けの相談や生活就労相談、住居確保給付金の相談件数が減っている。貸付けは、貸付けの期間、住居確保給付金は、支給期間があるため、令和2年度と3年度にそれらを受けた多くの人が、4年度にその期間を終了しており、このことが相談件数の減少につながったと考えている。

○民生費 障がい者在宅福祉サービス事業

問 在宅障がい児と在宅障がい者の人数とそれぞれのホームヘルプや、日中一時支援の利用実績を伺う。

答 令和4年度の人件数だが、身体障がい者の手帳取得者が8453人、療育手帳が2356人、精神障害者保健福祉手帳の取得者が2809人である。また、ホームヘルプの利用者数は、障がい者は293人、障がい児は9人、合計で302人である。日中一時支援は、障がい者130人、障がい児39人、合計で169人だった。

○農林水産業費 森林環境譲与税基金積立事業

問 森林環境譲与税の支給額と使途を伺う。

答 森林環境譲与税の支給額は2998万6千円だった。使途は、保育園や幼稚園、特別支援学級などの木製玩具や家具、図書館の机や椅子、返却ポスト、子どもの家の木製ドアなど、計915万円に活用し、残金の約2千万円を基金に積み立てた。

○商工費 中小企業経営支援事業

問 脱炭素設備投資促進補助金の具体的な内容を伺う。

答 令和4年度は太陽光設備を4件、生産機械に対して2件の計6件、計1271万7千円を補助した。

○消防費 消防分団運営事業

問 活動服の更新について、伺う。

答 令和4年度は新規格の活動服を購入し支給した。令和4年度から3年計画で、年120着ずつを整備する予定である。

○教育費 GIGAスクール構想推進事業

問 令和4年度のタブレット端末の修理台数と修理費用を伺う。

答 修理台数は156台、修理費用は188万8912円だった。

病院事業決算

問 令和4年4月から、未収金残高縮減を目指して未収金回収業務を弁護士法人に委託しているが、令和4年度の未収金の回収件数と状況を伺う。

答 令和4年度末時点で、委託した未収金額は5877万9141円となっている。また、主債務者数は456人である。

下水道事業決算

問 流動比率が前年度と比較して17.8ポイント上昇しているが、その要因を伺う。

答 主な要因としては、現金預金の増加と企業債残高の減少などによるものと考えている。令和4年度末時点において、前年度末と比較して現金預金の残高が約2億5千万円増加した一方で、企業債償還金は約2億5千万円減少したことなどにより、短期的な債務に対する支払い能力が高まった結果、流動比率の改善につながったと考えている。

しらさぎ・無所属クラブ



満足度No.1のまちをめざして

白井 照人 議員

中学校完全給食実施

問 中学校給食費の公会計化にあたり、先に導入した小学校給食費の公会計化の成果と課題を伺う。

市長 学校給食費の徴収管理における教職員の業務負担が軽減され、教職員が子どもと向き合う時間が確保できた。また、公会計化前は、口座引き落としは学校指定の金融機関のみだったが、公会計化後は市税同様多くの金融機関が選択できるようにになり、利便性が大きく向上した。一方で、収納率の低下が課題である。

問 昼食を食べる生徒の満足度を上げるために、留意したことは何か伺う。

市長 児童生徒の心身の健全な発達のため、小学校から中学校まで一貫して、成長に合わせた栄養バランスのとれた、安心・安全でおいしい、適温給食の提供に取り組んでいく。

問 給食について、食育の観点での考えを伺う。

市長 季節の食材や地場産物の活用、伝統的な和食なども取り入れる。また、食事マナーをはじめ、配膳や片付けの方法など給食時間での指導も学校と連携して取り組んでいく。学校給食センターには、2階から調理場内が見学できるような「見学窓」を設けており、展示ホールには、実際に調理や衛生管理を体感できる

請願・陳情を市議会へ

皆さんの意見や要望を議会に伝え、市政に反映させる方法として請願と陳情があります。

請願は、紹介議員を必要とし、提出後は所管の常任委員会などへ付託して審査します。その後、委員会審査の結果を本会議へ報告し、議会としての採択、不採択などを決定します。

陳情は、請願と同じような性格のものです。紹介議員を必要とせず、提出後は議会運営委員会での取り扱いについて協議します。



設備や、料理教室も開催できる調理室を設置するなど食育を推進する。

問 以前の答弁で、有事の際には防災用の炊き出しができるというが、具体的な備蓄数を伺う。

教育総務部長 備蓄している非常食は6千食程である。炊き出しを行える装備も備えており、炊き出しと備蓄を合わせて、有事には対応できる準備を行っている。今後、事業者と災害協定などを結ぶ予定があり、その中でしっかりと対応していきたい。

街路樹の管理

問 旧J.T跡地の南側にある、幹道38号須賀久領平塚中学校線の街路樹伐採計画の見直し計画を伺う。

土木部長 樹木の配置は交差点からの視距確保などの安全性や、可能な限り樹木を残すための検討を重ねた結果、イチヨウの総数は65本を16本減らし、49本にする。そのうち22本を保全し、27本を新たに植える修正計画となった。

問 土地開発に伴う道路協定で、街路樹の取り扱いに関する基準はあるのか。

土木部長 これまでは、開発事業者が各課に協議をする中で判断してきた。

問 景観計画やその地域に適切な植栽を管理することで、健全な街路樹を育み、まちの表情を整えるアイテ

ムになる。地域ごとにふさわしい街路樹があると思うが見解を伺う。

まちづくり政策部長 仮に街路樹を大規模に更新していく場合には、地域との意見交換や景観の専門家のアドバイス、警察などの関係機関や庁内関係各課と協議を行い、樹種や間隔などを決めていくと考えている。

問 県内では街路樹の管理計画や更新ガイドラインなどを策定している市もある。本市でも策定するべきだと考えるが見解を伺う。

土木部長 他市の先進事例なども参考に、内容も含め

子育て環境の充実



第2子以降の保育料の無償化

渡部 亮 議員

問 兵庫県明石市では第2子以降の保育料を無償化するなど、子育て支援に注力し、10年連続で人口が増加し、出生率も上昇した。本市でも第2子以降の保育料を無償化できないのか。

健康・こども部長 本市の基準は国に基づくものである。国の制度を超える補助については国や他市の動向を注視し、検討していく。

問 第2子以降の保育料無償化の予算額を伺う。

健康・こども部長 約1億2千万円の増額になる。

問 どんな支援があれば子どもを望むかの調査で、教育費や保育料の補助が上位を占めている。もう一人子どもが欲しい家族へ、第2子以降の保育料無償化は効果があると思うがどうか。

現在検討しており、しっかりと進めていきたい。

個人情報を含む文書

問 ボランティア活動などで配布される資料には個人情報を含むものもある。任期終了後、手元に残った資料などの廃棄について、本市の見解を伺う。

市民部長 個人情報の取り扱いに関しては、細心の注意を払う必要がある。改めて庁内関係各課を通じて、所管する団体に対し適正な取り扱いに努めるよう周知を依頼し、個人情報に関する意識啓発を進めていく。

ベビシッター利用支援や休日保育拡充

問 保護者が休日に病気で子どもの面倒が見られない場合のベビシッター利用支援や休日保育所などを利用しやすくできないのか。

健康・こども部長 既存の施設で利用しやすい環境の整備を検討する。

このほかの質問 市役所を一時滞在施設として活用 香害対策

限を引き下げられないのか伺う。

健康・こども部長 就労時間の下限を引き下げた場合、より多くの人が保育所を利用できるようになるが、保育を必要とする世帯の入所が困難になる可能性がある。優先度が高い世帯が入所できるように引き続き月60時間とする。

問 保育需要が減ってきた際には就労時間の下限引き下げを検討できないのか。

健康・こども部長 国の「こども誰でも通園制度」も注視し、本市の待機児童や出生数の状況をみながら将来的に検討すべき課題と考えている。

公園に「道路」整備 法律違反ではないか

問 国道134号から公園駐車場に向かう出入口通路部分を市道として整備するが、公園の中に市道を通すためには、都市計画の変更をしなければ、都市公園法上違法になると考えるが、見解を伺う。

都市整備部長 道路法及び都市公園法では、相互に効用を兼ねる場合は兼用工作物とすることができ、兼用工作物として規定に則って道路管理者と協議し、兼用工作物としていたため、都市公園法上違法とまでは考えられていない。



障害年金返還を求めめる事態に 具体的な再発防止策を 江口 友子 議員

問 保険料と障害給付額などの算出ミスが連続して起きています。早急に再発防止策を講じるべきだと思いが見解を伺う。

健康・こども部長 今回の過誤は、後期高齢者医療保険料などの算定の基となる所得情報をシステムに取り込む際の不具合が原因である。今後、検査や検収体制の強化に努め、作業漏れなどの防止を徹底する。

市議会ホームページ

市議会のホームページでは、会議日程、本会議の生中継と録画中継、議会だよりのバックナンバーなどを掲載しています。



写真奥に見える樹林帯辺りが出入口通路(市道)になる



海岸線に沿って伸びる海岸樹林帯津波などを減災する効果がある

しらさぎ・無所属クラブ 所属議員



元島 新 議員



端 文昭 議員

公明ひらつか



市民に寄り添う確かな未来を

上野 仁志 議員

物価高騰対策

問 本市の考える物価高騰対策を伺う。

市長 経済環境が変化する過程では、大きな影響を受ける市民や事業者に対して一定の支えが必要だと認識している。基礎自治体として、国や県の物価高騰対策の隙間を埋める細やかな対策を、迅速かつ切れ目なく実施していく必要があると考えている。

DX・GX

問 デジタル技術の浸透により、人々の生活をより良い方向に変化させるDX(デジタルトランスフォーメーション)と、化石燃料からクリーンエネルギーへの転換によって社会の変革を促すGX(グリーントランスフォーメーション)の本市での進め方を伺う。

市長 市民サービス・利便性の向上や本市の持続可能性を鑑み、全事業を対象に、できることから順次進めていく必要があると考えている。

問 5年後に、企業が排出するCO2に価格を付けることで、排出者の行動の変容を促す政策手法であるカーボンプライシングが導入される。設備投資がで

ンターへの相談件数が年々増加し、内容も多様で複雑化している。基幹型地域包括支援センターが、対応困難なケースについての相談や助言、同行訪問などの後方支援、人材育成などで、高齢者よろず相談センターの質の標準化を図ったり、相互調整などを行うことにより、市民サービスの質の向上につながると考えている。

問 横須賀市では生前に葬儀関係者と本人が契約できるようにエンディングプランサポート事業を実施している。今後、多死社会が予測される中、本市での導入について見解を伺う。

市長 本事業の導入については、個人と葬祭事業者が行政が仲介することなど、死後事務委任契約についての課題整理が必要であると認識している。高齢者が抱える不安の解消に向けて、エンディングノートを活用した支援に取り組むとともに、さらなる支援体制について引き続き検討を進めていきたい。

エンディングプランサポート事業

問 学びの多様な学校を設置するべきだと考えるが、本市における研究状況と見解を伺う。

教育長 学びの多様な学校

不登校対策について

問 フリースクールなどでの教育も指導要録上の出席扱いにする必要があると思うが見解を伺う。

学校教育部長 校長の判断になるが、フリースクールでの活動がその子どもの成長に十分有益だと判断した場合、出席扱いにしているところである。



笑顔で暮らし続けられる街を目指して

岡崎 通子 議員

問 児童虐待の相談件数が全国的に増加するなど、子育てに困難を抱える世帯がこれまで以上に顕在化している。本市の児童虐待相談件数も年々増加しており、更なる支援の拡充に向け、産前産後の母親と暮らしを支える専門家である「産後ドゥーラ」との連携が必要だと考える。産前・産後ヘルパー派遣事業への「産後ドゥーラ」の参入によって、どのような効果を期待するのか伺う。

健康・子ども部長 一般社団法人ドゥーラ協会が独自

基幹型地域包括支援センターの設置

市長 高齢者よろず相談セ

では、不登校児童生徒一人一人の実態に配慮した指導などを行うこととされ、教育の機会を確保しつつ、必要な指導支援が届く良い取り組みだと認識している。今後、先進的な事例を含む情報を収集し、研究していく。

問 このほかの質問 平塚市行財政改革計画(2024-2027)【素案】について、学校のインフルエンザ対策について

学校教育部長 命や健康の大切さについて考えることは重要であり、各学校では学校教育全体を通じて、生命を尊重する心や互いに助け合い支え合う心を育成していく。赤十字血液センターが行う出前講座などの活用も含めた献血への理解増進に向けた取り組みについては、国の動向も踏まえ、教頭研究会などを通じて学校に働きかけていく。

問 HPVワクチンのキャッチアップ世代への公費接種期限は、令和7年3月末である。後悔する人を出さないよう、命を守るための個別通知を行うのか伺う。

健康・子ども部長 現時点ではまだ確定していない。6年度までの期間の中で対応ができるよう、検討していく。

の有効性が確認され、多くのメディアで取り上げられている。「ユマニチュード」の認識を伺う。

福祉部長 認知症患者の視点に立ち、尊厳を大切にすることをコミュニケーション技法で、認知症患者をケアするうえで有効な技法と認識している。「ユマニチュード」の効果などについて、介護や医療現場での実績、ほかの自治体の取り組みを参考に研究を進めている。

問 赤十字血液センターが行う出前講座などを活用し、献血への理解増進の取り組みを通して、命や健康の大切さを振り返る場としてはどうかと考えるが見解を伺う。

学校教育部長 命や健康の大切さについて考えることは重要であり、各学校では学校教育全体を通じて、生命を尊重する心や互いに助け合い支え合う心を育成していく。赤十字血液センターが行う出前講座などの活用も含めた献血への理解増進に向けた取り組みについては、国の動向も踏まえ、教頭研究会などを通じて学校に働きかけていく。

問 HPVワクチンのキャッチアップ世代への公費接種期限は、令和7年3月末である。後悔する人を出さないよう、命を守るための個別通知を行うのか伺う。

健康・子ども部長 現時点ではまだ確定していない。6年度までの期間の中で対応ができるよう、検討していく。



徹底した分析と情報共有で、子どもの事故防止を

五十嵐 豊 議員

問 令和2年4月から設置された、学校安全に係る業務を行う学校安全担当の取り組みと成果を伺う。

学校教育部長 各学校・園の安全推進体制をさらに強化するため、各学校・園が作成する危機管理マニュアルを支援する参考資料の提示や、全ての学校・園に学校安全担当者位置付けなどの取り組みを実施してきた。過去2回実施した、学校安全取組実施調査の回答結果から、学校現場での危機管理意識が向上していると読み取ることができ、これまでの成果であると認識している。

問 各学校・園の事故など、多くの事例を把握して集約し、データベース化して分析する必要があると考えている。

学校教育部長 事故を未然に防ぐためには、教職員の危機管理能力を高めていくことが大変重要だが、児童生徒自身が、危険の予測や回避の方法を考えることができる資質や能力を身に付

えるが見解を伺う。

学校教育部長 3年度にはヒヤリハット事例集をまとめ、各学校・園に情報共有し、事故防止に関する周知を図っている。また、事故やけがの報告も含めて発生原因を分析し、必要に応じて学校に指導、助言をしていくことも非常に重要であるので、重大事故を未然に防ぐためにも、しっかりと取り組んでいきたい。

問 危険予知トレーニングの児童生徒の習熟についての認識を伺う。

学校教育部長 事故を未然に防ぐためには、教職員の危機管理能力を高めていくことが大変重要だが、児童生徒自身が、危険の予測や回避の方法を考えることができる資質や能力を身に付

けることも必要であると認識している。

問 小学校低学年の危険予知の習熟は、家庭での意識啓発も必要と考えるが、見解を伺う。

学校教育部長 小学校低学年にとっては、家庭と学校がともに指導し、その指導内容を共有していくことが重要と考えている。

このほかの質問

市営住宅の高齢化への対応につ

公明ひらつか 所属議員 石田 美雪 議員 秋澤 雅久 議員

行政視察の報告

委員会の活動

議会では他自治体の先進事例を研究するため、行政視察を実施しています。9月定例会で承認を得た次の委員会が、閉会中に行政視察を行いました。

議会運営委員会 (10月19日~10月20日)

- 愛知県知立市...議会改革の取組について
●愛知県豊橋市...議会改革の取組について

教育民生常任委員会 (10月30日~10月31日)

- 岡山県高梁市...文化財保護の取組について
●岡山県倉敷市...倉敷型防災教育について

※詳しい視察内容を記載した報告書は、平塚市庁舎本館8階の議会図書室や5階の市政情報コーナーでご覧いただけます。

湘南フォーラム



子育て支援の充実は給食費の無償化で

小泉 春雄 議員

仮称次期平塚市 総合計画 (1次素案)

問 中学校の給食費が月額4800円に決まったが、今の時点で無償化した場合に必要となる費用を伺う。

答 教育総務部長 小・中学校分で9億円程度の財源が必要と試算している。

問 第2子以降を無償化した場合の費用を伺う。

答 教育総務部長 第1子と第2子が小学校に在籍している場合での試算だが、1億1800万円程度と試算している。

問 給食費の無償化は国が一律的に行うべきだが、許容できる範囲内での無償化の道筋を、市長4期目の任期中で付けられないのか。

答 市長 現時点で給食費を無償化する判断はできる状況ではない。もし国が給食費の無償化に対して負担してもらえるのであれば取り組んでいきたい。

問 連節バスの導入想定を伺う。

市長 ツインシティのまちづくりの進捗に合わせて、公共交通需要が高まり、一定の時間内に大量輸送が必要な場合には、路線バス事業者や関係機関などと導入に向けて調整を図る。

教員の採用について

問 令和5年4月に配属された新任教員の数と、既に退職した人数を伺う。

答 教育長 採用人数は合計で63人、退職者は12月8日現在で3人である。

問 来年度は何人の配属を要望するのか伺う。

答 教育長 5年度の退職者数や6年度の各学校の学級数などを踏まえ、必要な人数を検討し、要望していく。

増加するいじめや不登校への対応

問 令和4年度のいじめ認知件数と、重大事態はあったのか伺う。

答 教育長 令和4年度のいじめ認知件数は3108件、中学校が368件であった。4年度は学校からのいじめ重大事態の報告はなかった。

少子化と今後の展望

問 こども家庭庁の現在の動きを伺う。

答 副市長 国は「こども基本法」に基づき、こども政策の方向性を定める、こども大綱の策定を進めている。

問 少子化に対する本市独自の取り組みを伺う。

答 副市長 子育てに関する基金の設置や子育て世代包括支援センター「ひらつかネウボラールームはぐくみ」の開設、小児医療費助成の対象拡大、手ぶら保育や障が

い児保育の促進などの取り組みを行っている。

問 取り組みの周知についての考えを伺う。

答 副市長 国は「こども基本法」に基づき、こども政策の方向性を定める、こども大綱の策定を進めている。

問 保育所に関する市民ニーズの捉え方や施策への反映を伺う。

副市長 保育所の入所前後を通じて、保護者の声を丁寧に聞き取り、自宅近くや低年齢児の保育の希望が多いことから、保育ニーズの

民間活力の活用

問 民間活力を活用した主な業務と、行財政効果額について伺う。

答 企画政策部長 平成31年度に市民課と保険年金課の窓口を業務委託し、令和2年度は約3億5千万円の効果があった。指定管理者制度を4年度に地区図書館へ導入し、約2千万円の効果があった。官民連携の取り組みについては、見附台周辺地区の整備運営に、民間提案活用型PPP事業の手法を活用し、3年度の整備、4年度の運営などについて約9億5千万円の効果があった。

問 民間活力を活用した業務について、どのようなサービスの向上や効率化が図られたのか、また、市民のメリットにつながっているのか伺う。

答 企画政策部長 指定管理者制度を導入した地区図書館では、開館日の増加や開館時間の延長が実現できている。保険年金課では、窓口業務の委託により職員を新たな業務に振り向けることで、サービスの向上や効率化を図ることができている。また、委託することによって、内部事務に注力できるようになり、国民健康保険税などの収納率の向上や、保険者努力支援制度交

の待機児童数は108人、保留児童数は570人である。対応策としての確実な保育ニーズの把握に努め、施設整備などを進めている。

問 令和6年9月から始まる中学校完全給食の進捗状況を伺う。

答 教育総務部長 新しい学校給食センターは外壁工事などを行っており、今後は、外構工事を行う予定である。中学校給食受入施設の整備は学校給食センター完成までに全校完了する。給食時間の確保などは、学校給食会運営委員会を設置し

高い地域に賃貸物件改修方式の保育所と、低年齢児を受け入れる小規模保育事業所を整備している。

中学校完全給食の準備状況

問 令和6年9月から始まる中学校完全給食の進捗状況を伺う。

答 教育総務部長 新しい学校給食センターは外壁工事などを行っており、今後は、外構工事を行う予定である。中学校給食受入施設の整備は学校給食センター完成までに全校完了する。給食時間の確保などは、学校給食会運営委員会を設置し

て現場の声を聞きながら検討を行っている。

このほかの質問 中小企業への支援 平塚市公共施設

等個別施設計画 ツインシティ大神地区 金目川・鈴川の河床掘削等工事 小中学校トイレの洋式化の進捗

インターネット中継

本会議の質問と答弁の様子は、インターネットで生中継と録画中継を行っています。

各議員の質問内容を詳しく知りたい方は市議会ホームページからアクセスしてください。議員、会派、ことばなどを検索して映像を選べます。

録画中継は発言日のおおむね1週間後から、会議録をホームページに掲載するまでの間、ご覧いただけます。

付金などの増額を図ることができている。

このほかの質問 公園の防犯対策強化

問 防犯カメラは、地域から設置の要望があった際には進めていくべきだと感じます。要望はあったが、管理などができない地域に関して、市は積極的に設置をす

る考えはあるのか伺う。

答 都市整備部長 防犯カメラは、犯罪抑止の有効的な手段であると考えており、犯罪行為や器物破損が頻繁に起きている公園には優先順位を付け、設置に取り組み。地域から要望があった場合にも検討していきたいと考えている。

会議録は2月中旬に公開... 12月定例会の会議録は2月中旬から公開します。市議会ホームページなどでもご覧になれます。

湘南フォーラム 所属議員 山原 栄一 議員 府川 正明 議員

日本共産党平塚市議会議員団



物価高騰から市民生活と中小事業者の営業を守る施策を

深刻な市内中小事業者への支援拡充を

市内製造業者や小売業者などは30年間で半減した。コロナ禍と物価高騰で更に危機的状況にある中小事業者への支援策を伺う。

産業振興部長 国の重点支援地方交付金の交付限度額は3億5千万円である。活用については、国から示された推奨事業メニューを参考に検討した支援策を追加の補正予算で示す。

問 市税完納が融資の条件だが、分納している事業者も対象にできないのか。産業振興部長 県や他市で

も対象外であり、難しい。

低所得者支援対策を

物価高騰に苦しむ生活保護受給者が、最低限度の生活を維持できない状況でどう支援していくのか。

産業振興部長 国の基準に沿った給付であり、市独自の支援は検討していない。

問 重点支援地方交付金を活用し、住民税が均等割のみの世帯などに対して支援する考えはないのか。福祉部長 制度の詳細が届き次第、市の取り組み方も検討していく。

無所属



龍城ヶ丘ゾーン整備はまず住民の命を最優先に考えるべき

問 なぜ、いまだに自治会長や住民と対話をしないのか。都市整備部長 本事業は募集要項の策定段階から市民対話を重ねてきた。最終的にプランが確定したら着工前に説明会の開催を考えている。地元自治会から要望

があった住民の説明については、現在自治会長と開催方法などを協議している。

問 住民たちの命の森である海岸林を残すことは平塚市環境基本条例に合致していると思うが、いかがか。都市整備部長 平塚市環境基本条例は、個別の事業を

福祉部長 国などの動向を見ながら、今後慎重に検討していきたい。

湘南海岸公園 龍城ヶ丘ゾーン 整備・管理運営事業

プール跡地東側樹林帯は地域住民が草刈りや清掃などを定期的に行い、良好な状態に変わっていることを認識しているのか。

都市整備部長 住民の協力には感謝しているが、高木が密集すると死角が多くなり防犯上の観点から好ましくないため、その部分で公園整備を進めていきたい。

問 現状の樹林帯に樹木がない草地が複数箇所あることは知っているのか。都市整備部長 承知している。

問 海岸側が風の影響で低木になっていることは知っているのか。都市整備部長 それも承知している。

問 それでは市が示している、10メートルの樹林帯にはならないのではないか。都市整備部長 風の影響を受ける箇所は竹簀垣を設置するなど、既存樹木の保全策を考えている。

問 見直しプラン作成後は、地域住民との話し合いなどは行っていないと思うが、見解を伺う。都市整備部長 できる限り意見を反映したプランにしている認識である。

問 12月半ばを過ぎても説明会開催の提案がないのはおかしいのではないか。都市整備部長 地元自治会長と開催方法などの協議をしている状況である。

問 6月議会の答弁と変わっていない。半年間何を

規制する性質の条例ではないと認識している。本事業は環境に配慮し、出来る限り樹木を残し、新規に植栽する計画であり、条例に合致していると考えている。

中学校における 体育祭について

問 本市の学校現場における熱中症対策を伺う。学校教育部長 各学校や園では活動場所や活動時間ご

してきたのか。都市整備部長 結果的に変化はないが、地元とは協議を続けている状況である。

障がい者・高齢者への交通支援拡充を

障がい者や高齢者への交通支援策の拡充・強化をすることが重要と考えるが見解を伺う。

福祉部長 現行制度を何とか維持し、全体的・総合的に判断していく。

このほかの質問 学校体育館へのエアコン設置

日本共産党平塚市議会議員団 所属議員 松本 敏子 議員

学校教育部長 今後さらに暑さが増し、危険な状況になれば、協議は必要であると考えている。

会議録検索のご利用を

市議会ホームページの会議録検索では、日程や発言者などから簡単に検索することができます。



常任委員会の審査概要

今定例会に上程された議案は所管の常任委員会に付託して審査しました。主な質疑を紹介します。

総務経済

議案5案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第103号 令和5年度平塚市一般会計補正予算

問 財産管理費の庁舎維持管理事業について修繕の内容を伺う。

答 8月に起きた落雷の影響により、中央監視装置のリモートユニットが故障した。また、9月には8階女子トイレの排水管が詰まり、復旧などに予期せぬ修繕費用がかかった。また、市庁舎本館の1期工事の竣工から10年が経過し、適切な維持管理を行うため、使用頻度の高い空調設備やシャッター、自動ドアなどの不具合箇所や設備の保全として経年劣化した部品を交換するものである。

都市建設

議案7案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第103号 令和5年度平塚市一般会計補正予算

問 総合公園費の総合公園管理運営事業について競技場の光波距離測定装置を更新するが、装置の用途と使用頻度、更新理由を伺う。

答 陸上競技のやり投げなどの投擲競技や棒高跳びなどの跳躍競技で、レーザービームを用いて距離や高さを計測するものである。使用頻度は、令和5年12月時点で66件の利用があった。更新理由は、競技場に配備されていた2台の装置のうち、1台が7月下旬に故障したため、新たに購入するものである。

教育民生

議案6案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第103号 令和5年度平塚市一般会計補正予算

問 公民館費の地区公民館管理運営事業について、大原公民館の空調設備を修繕するため、約1500万円が計上されている。これは債務負担行為もあるため、大変大きな金額だが、具体的な内容を伺う。

答 大原公民館の空調機は今年の7月頃に故障した。ガスヒートポンプ方式で、4系統あるうちの3系統について、今回修繕料として計上している。系統の位置は、1階の事務室系統、2階の学校部分と共有する音楽室系統である。

環境厚生

議案9案件は全て原案どおり可決すべきもの、請願1件は不採択とすべきものと決定しました。

○議案第93号 平塚市民病院の診療費その他の費用の徴収に関する条例の一部を改正する条例

問 平塚市民病院は、病院の都合や病状が重いことで、個室の利用を患者に求めることはしていないと認識しているが、病院の都合で個室に入ってもらえることがあるのか。問う。

答 多床室に空きがない場合や、感染症対策として、病院側が患者に個室に入ってもらうことをお願いする場合はあるが、その場合には差額室料は請求しない運用となる。

審議の結果

市長提出議案

○は賛成 ×は反対 退は退席 欠は欠席
(各会派の正式名称はページ左下に記載しています)

議案番号	件名	結果	清	し	公	湘	共	A
認第1号	決算の認定について〔令和4年度平塚市一般会計・特別会計決算〕	認定	○	○4 欠1	○	○4 欠1	×	○
認第2号	決算の認定について〔令和4年度平塚市病院事業決算〕	認定	○	○4 欠1	○	○4 欠1	○	○
認第3号	決算の認定について〔令和4年度平塚市下水道事業決算〕	認定	○	○4 欠1	○	○4 欠1	○	○
第70号	利益の処分について	可決	○	○4 欠1	○	○4 欠1	○	○
第82号	平塚市一般職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	可決	○	○2 退2 欠1	○	○4 欠1	×	○
第83号	令和5年度平塚市一般会計補正予算	可決	○	○2 退2 欠1	○	○4 欠1	×	○
第84号	令和5年度平塚市競輪事業特別会計補正予算	可決	○	○4 欠1	○	○4 欠1	○	○
第85号	令和5年度平塚市国民健康保険事業特別会計補正予算	可決	○	○4 欠1	○	○4 欠1	○	○
第86号	令和5年度平塚市介護保険事業特別会計補正予算	可決	○	○4 欠1	○	○4 欠1	○	○
第87号	平塚市パートタイム会計年度任用職員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
第88号	平塚市みどり基金条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
第89号	平塚市市税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	×	○
第90号	平塚市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
第91号	平塚市学校給食費の管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
第92号	平塚市民病院職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
第93号	平塚市民病院の診療費その他の費用の徴収に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
第94号	平塚市火災予防条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
第95号	施設整備契約の締結について〔市営中原上宿住宅建替整備〕	可決	○	○	○	○	○	○
第96号	指定管理者の指定について〔平塚市勤労会館〕	可決	○	○	○	○	○	○
第97号	指定管理者の指定について〔平塚市土屋霊園〕	可決	○	○	○	○	○	○
第98号	指定管理者の指定について〔平塚市営住宅及び共同施設〕	可決	○	○	○	○	○	○
第99号	指定管理者の指定について〔旧横浜ゴム平塚製造所記念館〕	可決	○	○	○	○	○	○
第100号	指定管理者の指定について〔平塚市立軟式庭球場・平塚市立桃浜町庭球場・大神スポーツ広場〕	可決	○	○	○	○	○	○
第101号	指定管理者の指定について〔湘南ひらつかパークゴルフ場・土沢野球場・土沢多目的広場〕	可決	○	○	○	○	○	○
第102号	住居表示に関する法律第3条第1項の規定による本市における市街地の区域及び当該区域における住居表示の方法について	可決	○	○	○	○	○	○
第103号	令和5年度平塚市一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	×	○
第104号	令和5年度平塚市国民健康保険事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○
第105号	令和5年度平塚市後期高齢者医療事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○
第106号	令和5年度平塚市病院事業会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○
第107号	教育委員会委員の任命について	同意	○	○4 欠1	○	○	○	○
第108号	令和5年度平塚市一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○
第109号	人権擁護委員の推薦について	同意	○	○	○	○	○	○

請願

請願番号	件名	付託委員会	結果
第5号	現行の(紙の)健康保険証の存続を求める請願	環境厚生常任委員会	不採択

報告

報告番号	件名
第14号	専決処分の報告について

議員の通称名等の使用について

平塚市議会では、平塚市議会議員の通称名等の使用について、令和5年11月20日に実施が決定されました。これにより、通称名等の使用を希望する議員は、申請をし、承認された後、通称名等の使用が可能となります。通称名等の使用については、令和6年3月定例会から実施する予定です。

会派名等の表記について

審議結果一覧表では、会派名等を略称で表記しています。正式名称等は次のとおりです。

- 清……清風クラブ(8名)
- し……しらさぎ・無所属クラブ(5名)
- 公……公明ひらつか(5名)
- 湘……湘南フォーラム(5名)
- 共……日本共産党平塚市議会議員団(2名)
- A……佐藤由美子(無所属)

議会報編集委員会

- 編集委員 元島 新 久保田聡
岡崎通子 黒部栄三
- 議長 坂間正昭
副議長 出村 光

お知らせ

- 3月定例会の本会議と常任委員会は、右記日程での開催を予定しています。本会議は午前10時に開会の予定です。
- 本会議はケーブルテレビ(SCN)での生中継と当日夜の録画放送、インターネットでの生中継と録画中継の配信を行っています。
- 市議会ホームページでは、これまで発行したひらつか議会だよりをご覧ください。



問い合わせ
平塚市議会 議会局 ☎0463-21-8791

3月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
2/11	2/12	2/13	2/14	2/15	2/16 本会議 [提案説明 など]	2/17
2/18	2/19	2/20	2/21	2/22	2/23	2/24
2/25	2/26	2/27	2/28 本会議 [代表質問]	2/29 本会議 [代表・ 総括質問]	3/1 本会議 [総括質問]	3/2
3/3	3/4 本会議 [総括質問]	3/5	3/6 常任委員会	3/7 常任委員会	3/8 常任委員会	3/9
3/10	3/11 常任委員会	3/12	3/13	3/14	3/15	3/16
3/17	3/18 本会議 [表決など]	3/19	3/20	3/21	3/22	3/23